

## 持続可能な地域社会を創生することが喫緊の課題

衆議院議長 大島 理森

本日、全国町村長大会が開催されるにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

本年は、地方自治法が施行されてから七十周年を迎え、地方自治制度において極めて意義深い年であります。この間、町村長の皆様は、住民の多様なニーズに応じた施策を実現するとともに、地域が持つ多面的機能を最大限に活かして、伝統文化の継承や国土保全に取り組んでこられました。そして現在、地方の自主性及び自立性の拡大が進み、町村長の皆様の意思決定がますます重要になっております。このような状況において、町村議会と協働して、住民福祉の向上と地方自治の伸展のために、日頃からリーダーシップを発揮されている皆様方に、心から敬意を表します。

今日、町村においては、少子高齢化や大都市圏への人口流出により人口減少が進んでおり、持続可能な地域社会を創生することが喫緊の課題であります。地域資源を利活用した産業の振興に努め、地方での生活基盤を構築するとともに、自然との共生を図り、自然豊かな地域社会を次世代に引き継いでいかなければなりません。衆議院といたしましても、関係委員会において審議や調査活動を進め、個性豊かで活力に満ちた町村の実現に向けて、引き続き尽力してまいります。

また、先ほど荒木会長がお話しされた北朝鮮ミサイル発射に対する町村会の皆様のご意思、しかと承ります。私ども衆議院といたしましても、何らかの意思を表明し、発信してまいりたいと存じます。

結びに、本大会のご成功とご列席の皆様方の一層のご活躍とご健勝をお祈りして、ご挨拶といたします。